

扉座代表作「いとしの儂」が11月満員御礼

で千秋楽を迎えました

当会会員の横内謙介氏が展開する厚木シアタープロジェクト(ATP)では4月24日・25日にATP番外編として六角精児氏や春風亭昇太師匠らの演劇ユニット『ザ・フルーツ』のライブを公演。昔懐かしのグループサウンズ音楽を演劇と一緒に楽しみました。

11月21日・22日には横内氏主宰の劇団扉座が『いとしの儂』を公演。扉座の代表作でもある同作品は、これまで有名女優を主役に国内外で何度も外部公演が行われて



おり、今回は主役にMEGUMIさんを迎え、装いも新たに再演されました。大好評の東京公演を受け、満員御礼のなか厚木でツアー千秋楽を迎え、感動のカーテンコールとなりました。(S62政経 藤野 心)

俳句同好会

発足して丁度1年、メンバーは7、8名で毎月の投句がようやく定着してきている。俳句の面白さや季節感を実感できるよう、吟行会を実施している。飯山観音、七沢自然保護センターに続き、つい先日はレディースの会に便乗しての一遍聖絵(国宝)の初公開を見学し、併せて遊行寺境内を散策しての句作で楽しい一日を過ごした。

(S44理工 本杉純生)

厚木稲門会短信

▲稲門祭

10月18日(日)第50回ホームカミングデー式典終了と同時に華々しく開幕。秋の好天下、キャンパスに集まった多数の卒業生等は様々な企画イベント、模擬店等を思い思いに楽しんでいました。

実行委員の一員として福引景品交換のお手伝いをしながら奨学生や校友との会話は楽しかったです。(S47政経 雑賀哲治)

▲トークサロン

新企画「トークサロン」の初回が11月28日(土)、レンブラントホテル厚木内の中華レストラン「トルファン」にて開催された。スピーカーは朽木 達氏。「8年間の中国での実体験」と題して、仕事で滞在した往時(1996～)の中国社会の実態を言語、民族や食習慣等を踏まえて興味深く語られた。リスナーは稲門会会員21名で、一同美味しい食事に知的充足感もあり…のサロンであった。

(S41教育 中川匡子)

▲日本語ボランティア

稲門会のボランティア活動を増やす目的で始めた日本語教室の講師役も今年で5年目、厚木市で4名、座間の1名とで5名が今年も毎週1回活動しています。受講生はベトナム、中国、インド、カナダ…オーバーに言えば世界各国の人々です。英語圏でない人も多いので、下手な英語は使わずに日本語と絵カードでの授業です。皆様も如何ですか。(S41商 草山洋一)

レディースの会

10月22日(金)、藤沢市にある時宗総本山「遊行寺」にて、宝物館の展示見学をしました。特別展の「国宝一遍聖絵」は宗祖一遍上人の生涯を描いた全巻全段(12巻48段)の国内最古の絹本著色絵巻です。本邦初にして最後の公開とあって、初参加の1名を加えた9名が熱心に見学しました。

「一遍聖絵」は鎌倉時代の名品で、美術品としてだけでなく、史料としても非常に価値の高いもの。参加者はそれぞれに、衆生を救うべく踊念仏で全国を行脚した一遍上人の壮絶な人生に思いを馳せました。(S57文 草薙祐子)

英会話同好会

英会話同好会は、5月から新にマレーシア出身で子育て中の若いお母さんを迎えて再スタートしました。会員は現在6名で、毎月2回月曜の午後90分間、amyuでレッスン。英語を習うというより、英語を通してお互いの文化や習慣を話し合うという感じです。日本語禁止など堅苦しいルールもなく、日本語も交えて気楽な雰囲気でおしゃべりしています。5月に入会した英語ダメ人間の私でも楽しく参加させて頂いています。すっかりさび付いた方も頭の活性化のために参加してみても如何ですか?

(S44政経 東方勝彦)

囲碁同好会

秋季大会で熱戦を展開

10月11日(日)秋季囲碁大会を「本厚木囲碁クラブ」で開催しました。参加者は今までの最多となる9名で賑やかな会となりました。今回も賞品の獲得を目指して皆さん顔を紅潮させながら頑張って手を読んでいました。初参加の本杉さんも健闘されていました。

優勝は北園7段、準優勝内藤4段、3位永田初段でした。

また、6月のオール早稲田囲碁祭(日本棋院で開催)には北園7段、吉成・内藤・筒井・小林の各4段



が参加、健闘の結果、2年連続優勝していたが、今年は惜しくもグループ準優勝となりました。

(S41法 猪熊克行)